

MF シアトル 2019

参加記



2019/6/20（木）-2019/6/23（日）

ワシントン州会議場

日本であまり見られないものを見に行く旅



目次

この本について	2	意識の高いトイレ	20
MFシアトル 2019 について	2	Steak'n Shake	21
MFシアトルへの参加	3		
2019 年 6 月 20 日(木)		2019 年 6 月 22 日(土)	
シアトルへ	4	「隣」のレストラン	22
2019 年 6 月 20 日(木)		パイクプレイス・マーケットの地下	23
SIM 回線が不調	5	本戦 1B	23
会場入り	5	糸さんが初日を通過しました（ただし 2 日目は…）	27
早起き LCT シールド	6	夕方のパイクプレイス・マーケット	27
登録と昼食	7	Steak 'n Shake（2 回目）	28
LCT シールド 13:45 の回	8	大人のお店へ	29
LCT シールド 15:45 の回	8	土曜終了	29
他人の金でステーキを食べたい（食べました）	10	2019 年 6 月 23 日(日)	
ホテルにチェックイン	11	夜更かし	30
2019 年 6 月 21 日(金)		マーケットの眺望レストラン	30
早朝の日記書き	13	サイドイベント申し込み	31
スーパーでの買い出し	13	ドラフト ポッド 1	32
パン屋で朝食	14	ドラフト ポッド 10	32
スターバックス 1 号店	14	ダブルアップシールド	34
階下のアートショップ区画	15	会場離脱	36
スリープイン構築	16	パイクプレイス・マーケット（アート区画）	37
本戦対戦待ち	16	ハードロック・カフェのステーキ	38
本戦 1A	17	大人のお店へ（2 回目）	39
		アダルトショップへ	39

2019年6月24日(月)

[最後の夜](#)

41

[荷造り](#)

41

[隣\(階下\)のレストランへ](#)

42

[リンクライト線に乗車](#)

44

[空港へ](#)

44

[オーバーブッキング](#)

45

[帰りの空の旅](#)

46

2019年6月25日(火)

[帰国](#)

47

[帰宅](#)

48

この本について

本書は2019年6月20日(木)～23(日)にかけシアトルのワシントン州会議場(Washington State Convention Center)で開催されたマジック・ザ・ギャザリングのイベントであるマジックフェスト(MFシアトル2019)に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

現地の金額表記はドル(\$、米ドル、USD)で行いました。為替レートは1ドル=107円くらいだったようです。

MFシアトル2019について

去年までこのイベントは「GP(グランプリ)」と呼ばれていましたが、今年からは「GP」とは「本戦」のみを指し、イベント全体は「MF」と呼称するようにしたようです。

MF(MagicFest)というのは1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。MFシアトル2019(※1)は、シアトルで2019年に開催された大会ということになります。主催はChannel Fireball(※2)であり会場はワシントン州会議場(※3)でした。

※1 <https://www.cfbevents.com/mtgseattle>

※2 <http://store.channelfireball.com/>

※3 <https://www.wscc.com/>

MF シアトルへの参加

白木原さんから「ウィザーズが新しいことを試すのは今後はラスベガスでなくシアトルになる」と聞かされていたので、ではひとつ2019年のMFはシアトルにしようかなというのは決めていました。そして2019年1月3日には「6月22日シアトル リミテッド」という予定が発表されたので、行くことを決めている台北とは2週間しか離れていないしこの時点ではまだダブルGPでもない普通のMFのようでしたので、少しでも悩みつつも1月9日には航空券をぽちります。観光もしたいので木曜の朝に着いて月曜に出るというスクートの便を138070円で購入しました（悩んだうちに入りません）。

それから2カ月ほど経過した3月1日に「モダンホライゾン」の発売が発表されました。この発売日が6月14日であったことから「シアトルでやるリミテッドってこれのことだったのかぁ！」とテンションが大きく上がりました。そろそろ宿も取っておくかということでシアトルの地図を開いて会場である「ワシントン州会議場」の位置を調べ、付近の値段の安めホテルを調べつつ「Hotel Seattle」という「なめとんのか」なネーミングのホテル（※1）を木～月までの5泊。かろうじて個室バストイレは死守した安宿でしたが、それでも一泊80ドルもしますよ。でも他にはバストイレが共同のホステルを除けば1泊2万円くらいの宿ばかりのようで、どうにも仕方ありません。

そして3月中旬には「本戦初日を2回」という変則形式であることが発表され本戦受付が始まったので、金曜の予選1Aと土曜の予選1Bにプレイマットを加えてぽちりました。当初は4日開催とは思わなかったものの、ちょうど木曜朝にシアトルに着く便を購入していたので変更もせず、このままでいいやという感じです。

これで基本のスケジュールは決まったものの、まだサイドイベントなどの予定は正確には出ておらず、何よりもこれからまだMF横浜（4月20日～21日）やMF台北（6月7日～9日）があるので、こちらの予定をたてて参加するほうが先です（加えて、MF台北が終わり次第2週間で同人誌「MF台北2019参加記」を作成しました）。なんだかんだでサイドイベントを含めた予定を決めたのはGW明けで、観光の予定なども含めてそれらを詳細に確定させたのは、MF台北も終えた出発3日前くらいのことになりました。

また、この際には事前購入したSIMをスマホにセットしてアクティベートしました。

※1 [https://www.booking.com/hotel/us/seattle.ja.html?dest_id=20144883;](https://www.booking.com/hotel/us/seattle.ja.html?dest_id=20144883)

2019年6月20日（木） シアトルへ

正午にオフィスを離脱し、品川駅で女房と合流して着替えを受け取ってトイレで着替え、荷物を受け取って不要物を渡して別れ、12時37分発の京急アクセス特急で成田空港へ。13時56分に成田空港駅に到着し、デルタ空港のカウンターで14時20分にはチェックインを済ませて荷物を預けます。

一応カードラウンジを覗くもやはり柿ピーしかないので無料ドリンクを1杯飲んだら出て、昼食へ。レストランは高いしマクドナルドも見当たらなかったのもローソンでおにぎりとお茶とからあげくんを購入して出発ゲートに向かいます。

14時50分にはセキュリティを通過し、イミグレも通過して15時にはゲート前に到着。おにぎりを食べて待つうち搭乗開始。システム障害のため搭乗が30分以上遅れたものの、自分も16時20分には機内で着席します。ほどなく出発。9時間のフライトです。

17時にエビアンのペットボトルが配布され、17時45分に飲み物とクッキーが振る舞われた後、18時半に夕食が出ました。

夕食ののち、照明が落ちます。機内映画で日本語吹替がついていた「アントマン」を鑑賞。これは面白かったですね。



21時にハーゲンダッツが振る舞われたので、これを食べたら寝ることにしました。それでも23時には目が覚めてしまいました。日付変更線を東にまたいだので、シアトル時間ではふたたび木曜の朝の7時。スマホの時計をシアトル時間にします（ここからは、シアトル時間で記します）。

7時半には機内の照明がついて朝食。ハムチーズクロワッサンおいしいです。



そして少し遅れて9時にはシアトルに着陸。改めて木曜日の始まりです。

2019 年 6 月 20 日（木） SIM 回線が不調

9 時 20 分には機体が停止したのでさっそくスマホを出して「USA なう」とつぶやくも、ツイッターが反応しません。あれ…？キャリアも設定できているよな…？ともあれ進んでイミグレも通過して荷物を回収し、会場に向かうことにします。

11 時 15 分からのサイドイベント「早起きシールド」にオンラインで申し込みを済ませているので、これには遅刻せずに参加したいものですが、あと 1 時間半。



まずは空港からリンクライト線で市内までを移動する必要がある所以その駅を探します。「Link→」という案内はあちこちにあるので、道に迷いこそしなかったものの、重い荷物を引いて駐車場をぐるっと回ったりしながら目的の空港駅にたどりつき切符を買って乗車した時にはすでに**30 分が経過**。そして市内の会場そばの Westlake 駅までは 40 分くらいはかかる模様。そこから知らない会場を探して 11 時 15 分までに入場してシールド戦に参加するというプランに黄色信号。

しかし焦っても仕方ないので車窓の風景を楽しみつつ車内では通信を確認。着陸するなりつぶやいた「USA なう」が 20 分くらい遅れてツイッターに表示されていたので接続しているのは明らかだったものの（空港 Wifi でもなく）、話にならない遅さです。テストのため写真をツイッターに投稿したりしたものの、結局は「遅くてリアルタイムに反応せず使えない」という結論。ちっくしょー！まーたダメだったよ米国の SIM。

会場入り

そしてリンクライト線が Westlake 駅に到着すると 11 時。ここから目的地のワシントン州会議場は事前の調査では 2 ブロックほど離れ、遠くなかった筈ですが、自分はシアトルの地理を知らず**グーグルマップも使えません**。あと 15 分。赤信号の点滅。

さすがにワシントン州会議場は駅からの案内に載っていたので正しい出口から地上に出たものの、西も東も分からない状態で「どっち？」となりました。

しかしそれでも出口の地図をもとに現在地と目的地を確認し、「あの大きい建物だろう」と目星をつけつつ重い荷物を引きながら**坂を登ると**ビンゴ。すでに陽は高く汗だくで 11 時 10 分、施設の中に入ります。



施設の中から会場までをエスカレーターを 4 階まで登って探して、さらに会場に入っても今度は「早起きシールド」をやっている所はどこ？と探したうえで、11 時 15 分、デッキ構築のための座席表に自分の名前を発見して、ちょうどパックを配り始めるタイミングで着席しました。間に合ったあ！汗をふきつつ荷物を開けてリミテセットを取り出します。

早起き LCT シールド

早起き LCT シールド（Early Bird LCT Shield）を開始。
2 バイはあるけど、シールドの練習、練習。
まずはレアチェック。トップレアの《否定の力》は嬉しいんですがリミテッドで色を決めるレアではありません。
ナヤスリヴァーで組み《美德の力》のみ入りました。

《美德の力》
《大魔導師の魔除け》
《否定の力》
《絶望の力》
《溜め込み屋のアウフ》
《エラダムリーの呼び声》

取りレア

Round1 Alex さん 白赤緑 ××

G1 たくさん展開されて《厚鱗化》で全部 6/4 にされて負け。

G2 劣勢気味の殴り合いのすえ、《厚鱗化》で全部 6/4 にされて負け。

シングルエリミなので終了。次行こ次。

登録と昼食

早起きシールドを秒で負けて 13 時。では登録と昼飯にしましょう。

会場を出てロビーにあるカスタマー・サービスで登録を確認しプレイマット 2 枚、リミテッド・ファナティックのチケット（シールド 2 枚およびダブルアップシールド 1 枚）、他にプロモなどを貰う。

なお会場内でも通信の状況は好転せず。ダメだなこれは。買って損した。もう諦めよう。



ただしその後、テキストのみのツイッター DM だとそこそこラグも少なく使えることが判明したので会場では専らそれ専用として使っていました。

会場に戻りファナティックの券を 1 枚、サイドイベント横のシールド箱に放り込みます。LCT はフォーマットごとに 1 時間に 1 回行っており、シールド LCT の次は 13:45 です。ちょうどいいのでお昼にしましょう。



フードエリアに行き、サンドイッチを購入。こんなものでも 9.25 ドルもします。

さっそくいただきま…が、バンズも肉もぱさぱさ。ピンで串刺しにしてあってもぽろぽろこぼれるのを拾って口にする。肉の味を誤魔化すためか、ひどくペッパーの味がキツイ。無理やり完食したものの、食後しばらく気分が悪くなりました。まだポテチをかじってコーラを飲んでいたほうがマシでした。

このハンバーガーは**ポイズンと認定**し、以後は会期中もつとめて口にしない方向に決定。のち糸さんにも「これはやめたほうがいい」と警告しました。

LCT シールド 13:45 の回

気を取り直して、次の LCT シールドに参加。

まずはレアチェック。トップレアの《否定の力》は嬉しいんですがリミテッドで色を決めるレアではありません（それ、2 時間前にも言いましたよ）。

今度は赤緑のスリヴァーで組み、レアはモロフォンのみ入りました。

緑のくせに色支援がないので白が入らないスリヴァー（ダメだろそれ）。

《限りないもの、モロフォン》
《霊体の横滑り》
《バザールの交易魔道士》
《否定の力》
《ケイヤの手管》
《無声開拓地》

取りレア

Round1 Tony さん 白赤 ××

回らなければどうということはない！（瞬殺されました）。

シングルエリミなので終了。次行こ次。とほほー。

LCT シールド 15:45 の回

気落ちしつつもう 1 枚のシールド券を放り込み、参加。
時間的に今日はこれで終わりかな…せめて 1 勝したい。

まずはレアチェック。

スーパー爆弾レアの白青剣キター！

引き運はそれほど悪くないと思うんだけど、どうでもいい
同じレアを引きすぎの問題。

《限りないもの、モロフォン》
《大魔導師の魔除け》
《悪意スリヴァー》
《衝撃の足音》
《エラダムリーの呼び声》（フォイル）
《真理と正義の剣》
《無声開拓地》

取りレア

デッキは今度もナヤのスリヴァーで。現状でスリヴァー以外のデッキを組めていないのが明日以降の練習としての問題（まあスリヴァーは、コモンだけでもそこそこ強いデッキを組めるし、ろくなアンコモンやレアを引いてないということなんだけど…）

Creatures: 16

《蓋世徴用》
 《持久スリヴァー》
 《刃背スリヴァー》*2
 《母熊》
 《花の壁》
 《長槍スリヴァー》
 《殉教者の魂》
 《悪意スリヴァー》
 《春花のドルイド》
 《ロウクスの古参兵》
 《肉裂きスリヴァー》
 《吼える大鹿》
 《吠え象の群れ》*2
 《クローサの大牙獣》
 《限りないもの、モロフォン》

Spells: 7

《衝撃の足音》
 《エルフの憤激》
 《厄介払い》
 《避難》
 《真理と正義の剣》
 《超現実的決着》
 《マグマの陥没孔》

Lands: 17

《誘惑の洞窟》
 《忘れられた洞窟》
 《平穏な茂み》
 《平地》*6
 《山》*2
 《森》*6

Sideboard:

《双子絹蜘蛛》

構築デッキ**Round1 Molaさん 青緑 O×O**

G1 白青剣無双。

G2 平地2枚でキープしたら平地2枚を引いて終了。白青剣もカウンターされました。

G3 白青剣無双。

を、やっと人間相手に1勝できました。しかし自分の力で勝ったのではないぞ！その神話レアの性能のおかげだということを忘れるな！

Round2 Jeffさん 黒赤 O×O

G1 序盤でほぼ一方的にライフを半分に削られたものの、ワンサイズ大きめのこちらのクリーチャーが並びだして相手が停まり《衝撃の足音》の待機明けで4/4の2体が着地してじゃあ十分なブロッカーを残しつつ反攻開始、というところで向こうが投了。

G2 序盤に《ゴブリンの軍旗》を貼られてゴブリンがわらわら2/1で殴ってきて最後は本体に《ウルザの激怒》で3点。いい前のめりデッキですね。

G3 《双子絹蜘蛛》をサイドインして何とかしのいで勝ち。

Round3 Ericさん 黒赤緑 xOx

G1 いい感じで展開され負け。

G2 何とかスリヴァー（合わせ技で4/2の先制攻撃に）と大型で相手の動きを止めて、相手も大型を展開し始めるも、こちらがワンサイズ上を展開できて最終的には勝利。

G3 相手は《過去の刈り取り》で一度除去に使った《ウルザの激怒》を回収。こちらも自分のライフは13に維持してライフ5まで殴って追い込むも、相手が《母熊》2枚を追放するなどしてクリーチャーを増やし、最後に蜘蛛も含めフルパンで無理やり3点を通してくる。相手はすでに10マナを出して本体に10点を打ち込める状態だったので投了。いま一步及ばず。ぐっどげーむ。

ざんねん！ しかし先の2回よりもだいぶいい展開だったし、200チケを貰って明日への希望もできた。明日こそがんばろう。

他人の金でステーキを食べたい（食べました）

シールドを終えると19時。参加したいサイドイベントはもうないので離脱して夕食です。そこで夕方シアトルに着いた糸さんが、自分のホテルに荷物を置いた後で会場に来たので、合流してひとつ評判の良い店でステーキでも食いましょうという話になりました。

もう19時半を回っているのに明るいな…と思いつつ会場を出てタクシーを拾い、メトロポリタングリル（※1）に到着。

10ドルほどのタクシー代は糸さんが払いました。次に乗るときは自分が払います。

※1 <https://www.themetropolitangrill.com>



ここはディナーであれば諭吉は覚悟すべき店ですが、用意はあります。お金は使うためにあり。ということで覚悟完了。



オンスって何グラムなんだっけ…と思いつつ自分は Boneless Ribeye Steak の 16 オンス (68 ドル)、糸さんも同様の価格帯のもの。あとはシーザーサラダとスープを注文。それにコーラ。まあ 100 ドル諭吉超えコースでしょう。

あとはパンから始まって、料理を実況しながらおいしくいただきます。糸さんがポケット Wifi をレンタルしていたので、それに乗っかる形で日本の友人向けに写真入りの飯テロをリアルタイムで敢行。日本時間だと…金曜日の正午過ぎですか。ふふふふふ。

食事時の話題は、去年の GP リールと同様、やはり糸さんの「日本では誰が聞いているかわからないのでなかなか話せないマジックのトーナメント運営上のお悩み」を聞くというのがメインになりました（笑）。さすがにここには書けません。

そしてお勘定。今回、自分はここに来る以上は諭吉も上等で臨んだわけですが、糸さんが自分のぶんも支払い。今日は奢られるつもりは別になかったのでいささか「えー」…とも思ったものの話相手になったという認識はあるので、やや額が多いものの引き受けました。この恩は今後返すことにしましょう（伏線）。

ホテルにチェックイン

21 時過ぎに食事を終えてレストランを出ます。自分のホテルはこのすぐ近くの筈なので（それもここにした理由ですが）、そのまま糸さんの Wifi を拝借しつつ 2 人でホテルに移動。まだルートを選定もままならないので荷物を引きつつ無駄に坂を上ったり下りたりしたうえ、やがて自分のホテル「Hotel Seattle」に到着。フロントに行きチェックイン。

普通に予約が入っていたのを確認して糸さんは自分のホテルに戻るべく離脱。また明日！



909号室のシリンダー錠を貰いぼろいエレベーターで9階へ。そして自分の部屋を発見し、22時入室。部屋をチェック。うん、まあこんなもんじゃないかな。TVの映りが悪くて「使えんな」とは思いましたが、エロチャンネルもありますしどうでもいいです。しかし部屋を見まわしてもWifiのパスワードが見当たらないので、フロントに聞きに行くことにしました。

エレベーターに「下に降りる場合も『上』ボタンを押せ」と書いてあるのに軽いジャブを受けつつフロントでWifiのことを聞くと「Wifiはこのロビーだけで客室にはない」と言われる。そう来たか…。

さらに近くのスーパーとコンビニの場所を聞きフロントに置いてあった地図に印をつけて貰うも、セブンイレブンは3ブロック先でスーパーはそろそろしまる」とのこと。昼に買ったペットボトルの余りもあるので寒い中を坂道の多い不慣れな夜道を歩くには及ばないと判断し外出中止。



部屋に戻ってバスタブに湯を満たす。最初、温度を手で測ってこんなもんかなと思ったら最後のほうはずいぶんぬるくなっていました。うーん…明日からは水でうめずに湯だけをバスタブに満たすことにしましょう。熱過ぎたら後から水を入れる方向で。

ぬるま湯とはいえお湯なので、とりあえずざぶりつかって横になる。気持ちよさに意識を失いかけるのを慌てて起きて、身体を洗ってからシャワーですすいで出ます。

ではマジック日記を書こうかな…と思ったものの、やはり睡魔が襲ってきたので、抗わず寝ることにしました。22時40分、就寝。ぐう。

2019年6月21日（金） 早朝の日記書き

目が覚めたらまだ午前1時。寝直しても起きたらまだ午前3時。

マジック日記はやはり翌日のプレイが発生する前のその日のうちに書いておきたいので、起きて日記書きを始める。部屋ではネットが使えないので正確なカード名の部分はあとで埋めることにして、一通り書いたら午前4時。

これでよしと再度横になり、次に目が覚めた時にはそろそろ外が明るくなってきたので、時計を見たら5時15分。さすがに睡眠も足りたので、服を着てスマホとPCを持参してロビーへ。まともにつながるロビーのWifiで日本との通信を楽しみ、さらに日記を清書してアップロード。これで6時半になりました。起きることにしましょう。

スーパーでの買い出し

本日はいよいよGP本戦1Aの日ですが、スリープイン2BYEなので、11時までに会場に到着すれば構いません。従って朝食と観光を楽しんでから会場入りすることになります。早すぎるわけでもないのだから出ることにし、部屋に戻りノートPCを置きます。昨夜は割と寒かったので、バッグから長袖のジャケットを出して着て、昨夜貰った地図を手にして、7時過ぎに鍵を預けてホテルを出ます。

地図を見る限り観光ポイントのピクプレイスマーケットやスタバ1号店、それにスーパーは坂道を降りていく感じ。つらつら歩きます。事前チェック済のステーキバーガー店を発見し、さらにその先にスーパーを発見。すでに開いていましたので、地下に降ります。

検討の結果、ゴマベージュ6個3ドルを購入。かじって飢えをしのぐことはできるでしょうし何よりポイズンではありません。あとは飲み物などを買ってスーパーを出ます。



パン屋で朝食

そして7時半にはパイクプレイス・マーケットに到着。やはり市場だけに花や魚や果物の市場はすでに開いています。観光ガイドに9時以降と書いてあったのは、土産物屋などの店が開く時間だということなのでしょう。

マーケット外の並びに朝食を出しているパンの店の「Le Panier」があったので（※1）、ここでいいかなと入店。並んでレジで甘いパンとコーヒーを購入して、おいしくいただきます。14ドルくらいだったかな。値段を気にしてはいけません。



※1 <https://www.lepanier.com/>

スターバックス 1 号店

朝食を済ませると8時。グーグルマップは使えないもののこの近くにスタバ1号店がある筈だが…と思って通りを歩くと、少々の人だかりの先に、あっさり発見。

入店すると「飲み物を注文するなら右、お土産は左」と言われたので、ではと人だかりのなかを左に。この過程で数個ずつ置いてあるグッズを見て、自分用のマグカップと bolze. さんのお土産用のタンブラーを購入することにし、それを手に取って左に並びます。

並んでいる時に「そういえば無料 Wifi が使えるのではないかな。スタバだけに」と思って探したらビンゴ。特に面倒な入力の手間もなく高品質の Wifi に接続できたので、以後はリアルタイムでつぶやいたりこれまで撮っていた写真をアップロードしたりしました。

Wifiのおかげで待つのは苦でなくなったものの、なかなか列が進みません。さらに左列の先を見るとその先にはコーヒーを入れて客に渡すカウンターしかありません。これはアレかなと思いつつ最前列まで来たのでやむなく「土産を買いたいのだが」と声をかけると「右の列に並べ」と言われます。予想はしていたものの少しだけ血圧が上がります。

どうやらレジは右の列で左は「お土産」ではあったものの**陳列コーナー**であった模様。

仕方ないので店外まで続く右列の最後尾に移動し、その途中で手にしていたマグカップとタンブラーを店員に回収されグズズ一覧のパウチを渡されます。あれはただの陳列見本で、並んでいる間に購入するものを決めてからレジでお金を払って奥から出して貰うようでした。ま、そうだよな。

その頃にはレジの列は店外に出してから 5m くらいになっていましたが、おとなしく並ぶしかありません。並んでいる時に自分の前の女性 2 人が、店の入口で互いの写真を撮っていたので「一緒に写真を撮ってあげましょう」と申し出て、「その代わりに自分の写真をひとつ」ということで撮影して貰います。この時点では、これを本書の表紙にする予定でした。買い物を済ませて 8 時半、スタバを離脱。



階下のアートショップ区画

まだ 9 時前。会場に行く必要もないな…ということで、さらにぼつぼつと店が開いてきたパイクプレイス・マーケットを再度ひと回りすることにしました。ここで女房への土産の香水石鹸の店も発見（スタバに戻って女房に写真を送り、希望を聞きました）。

さらに階下のトイレに行った際にその奥に行ってみると、アート関係の店がたくさんある一角を発見。これこれ、こういうのを見たかったんですよ。思わず声が出ました。大半の店は 11 時～18 時まで営業で全部閉まっていたのですが、ウインドーから店内を見ているだけでも楽しげです。MF にフル参加していると入店は困難な時間ですが、これはひとつ日曜の午後は 17 時には会場を出てここに来ることにしよう、と思いました。

いやあここを発見できて良かった。知らずに帰ったら「パイクプレイス・マーケットって観光名所と言うほど面白くなかったですよ」という感想で終わる所でした（笑）。

スリープイン構築

9時になりました。もう本戦は始まっているし、別に11時に行かねばならないものでもないで、会場に向かうことにしました。途中の土産物屋に立ち寄りTシャツを買ったりしながら、ゆっくり坂を上って会場へ。

9時半には会場入りしました。スリープイン構築を済ませてしまうことにしたので構築のための場所をジャッジに聞くと、本戦エリア前に誘導されました。なるほど本戦本部前にあるテーブルを崩して隔離エリアを作成して、その中でやっています。早速入場。

しかしなぜこんなに面倒くさい方法を採用したのかな、謎。

本部前には通常は上位の若いテーブル番号から順に割り当てますのでこの結果、すでに始まっている1回戦は300番くらいからテーブル番号が割り当ててあるようでした。それは構わないものの、これだと3回戦終了時にジャッジが机を並べなおして番号札を置き上位テーブルを作り直す必要があります。さらに今回のGPシアトルは「初日」が2回ある変則的な構成ですので、本日の本戦1Aの9回戦の終了後に、明日の本戦1Bのスリープインのためにまた机を崩しての隔離区画を作る必要がありますし、明日はまた3回戦の後で机を並べ直す必要があります。なんでこんな面倒くさい方法を…。

本戦対戦待ち

構築を終えて10時過ぎ。まだ1回戦が終わったばかりで、1時間以上あります。

プライズ・ウォールで「去年のGPプレイマットランダムで70チケ（フォイル基本土地つき）」というのをやっていたので昨日獲得した200チケの一部を使って購入（GPニュージャージーのものでした）。

アーティストの50枚限定プレイマットを40ドルで買ったりスーパーで買った3ドルベーグルをかじります。特に美味くもありませんが、ポイズンではありません。



本戦 1A

千人いないみたいですね。まずはレアチェック。

うーん…強くない。

今回もナヤで。ただしスリヴァー味は除きました。

部族要素が薄いので重いモロフォンも不採用。

《限りないもの、モロフォン》
《バザールの交易魔道士》
《真冬》
《歴戦の紅蓮術士》
《溜め込み屋のアウフ》
《衝撃の足音》

取りレア

Creatures: 15

《オークの厄介者》
《母熊》*3
《花の壁》
《高山の案内人》
《ボガーダンの龍心》*2
《歴戦の紅蓮術士》
《農場の収穫者》
《吠え象の群れ》*2
《掘削するアヌーリッド》
《鉱石鱗の守護者》
《クローサの大牙獣》

Spells: 9

《衝撃の足音》
《厄介払い》*2
《炎恐怖症》
《紆余曲折》
《揮発性鉤爪》*2
《超現実的決着》
《マグマの陥没孔》

Lands: 16

《平穏な茂み》
《冠雪の平地》*2
《冠雪の山》
《冠雪の森》
《平地》
《山》*5
《森》*5

Sideboard:

《棘竜巻》
《双子絹蜘蛛》*2

構築デッキ

冰雪要素が無いのにわざわざ冰雪土地を入れているのは、昨日のLCTでリスト提出時にジャッジから「冰雪土地を書き忘れてないか？」と言われたため（アドバイスに聞こえなくもない）「そういえばこの環境では入れるデメリットないな。」「入れておけば相手が冰雪系の呪文があると勘違いしてくれるかもしれない」という姑息な策によるものです（笑）。採用しない理由はないので、この手は今後も使いました。

Round1 BYE

Round2 BYE

Round3 Samuelさん 赤緑 ××

- G1 向こうが先手3ターン目に《霧氷守り》でマナ加速しての《呪詛呑み》が4/4プロテクション（インスタント）で着地し、4ターン目に6/6プロテクション（すべて）になるというブン回りぶりに負け。
- G2 《起源》が相手の墓地に落ちこちらが殴って1:1交換を取りにくのを躊躇している所を色々ブンされて負け。《憤怒の力》の3マナで3/1速攻トランブル2体というのが単純に押し込まれるうえで強かったです。

Round4 Bryanさん 白緑 ×○×

微妙に白が出なくて除去できなかつたり緑緑が出なくて象が出せなかつたりして負け。相手の《旧ベナリアの騎士》を待機させたうえ《深き森の隠遁者》で1/1リス（実質は2/2）を4体出してきて、待機の解除と登場（+1/+1）に合わせて3/3が4体（当然他のクリーチャーも+1/+1）というムーブが強かったです。分かっているのに隠遁者すら除去できなかったこちらの引きの弱さを呪います。

Round5 Richardさん 青赤 ××

- G1 平地を引かずに相手のクリーチャーの除去ができずに負け。
- G2 いなされたり展開が十分にできずにただただ殴り負け。

あっという間に3連敗して**2日目に進出の圏外**になりました。

まあ確かにリミテでのボムレアやボムアンコもないから、そんなに強いデッキだとは思わなかったものの、ここまで弱いデッキだとも思わなかったのでもういささかショック。心が折れかけ、いっそもうドロップしてサイドイベントに回ろうかな…とも思ったものの、いやいや本戦はPWP8倍だしこれはそこまで弱いデッキでもないと思うよということで気を取り直して続ける。

5回戦でもなお負けたのに6回戦で自分のテーブル番号が小さくなったふしぎ！どんだけ多くの人間が5回終了時にドロップしたんだな感じ。まあ3敗ドロップだろうけど。

Round6 Jasonさん 青黒赤緑 O×O

- G1 相手の土地が停まる事故で勝ち。
- G2 まあ殴り負け。
- G3 順調に展開できて勝ち。

Rounnd7 Coleさん 青赤 OO

- G1 ブン勝ち。
- G2 ブン勝ち。

Round8 Michaelさん 青赤緑 ×OO

- G1 《地盤改変》を貼ってきてガシガシ土地をサイクリングしてきたので「ははあ」と思ったら、やはり4ターン目くらいに《鉱石鱗の守護者》が出て殴ってきた好ムーブ。返してキープしておいた《厄介払い》を貼ります。
以後は双方膠着し、こちらも突破できずサイズ大きめの11体が並び、向こうも9体が並んだ（1体は大きいのがいたので全体アタックもしにくかった）ところでその全部が《厚鱗化》で6/4になって殴ってくる。ブロックしてそのターンでは生き残ったものの、さすがに戦線が崩壊して投了。
相手の《巣網編みの変わり身》の手札を知りつつみすみす5点回復させたミスプレイもなくもなかったんですが、まあ基本膠着のすえの《厚鱗化》はやっぱり駄目ですね。
- G2 回って一方的に勝ち。
- G3 やはり双方が膠着しての展開。こちらが押し気味で《衝撃の足音》で4/4の2体が次のターンに着地するところで、こちらライフ16だが相手がブロッカーを残しつつもほぼ全部でアタックしてくる。その何ターンか前から相手が土地の数を何度か数えて10マナが出る状態だったので「これは《ウルザの激怒》持ってるな」と警戒して空も丁寧に止めていくつか大型の相打ちも取って13点を残した状態にする。返して殴り、相手がまだライフが残ると計算した所で《揮発性鉤爪》で勝ち。そして相手は、やはり《ウルザの激怒》を手札に持っていました。
こういう勘が、勝敗は割とどうでもいい最後の最後に働いた残念感（笑）。

結果 5-3。結果だけ見れば「惜しくも 2 日目に届かず」と言えなくもないものでしたが、まあ後半 3 連勝できたのはしょせん「すでに 3 回負けた相手」ですからね。前半 3 連敗でプレイミスをした覚えはないので、もうちょっと前半でツキが回ってあればあるいはとは思いました。とはいえ明日の本戦 1B につなぐうえでは後半は悪くないものでした。

意識の高いトイレ

3 回戦を終えての待ち時間に座席表の前で座っていたら向こうから「コンドーさんがいますね！」と素っ頓狂な声がしたので見ると、昼食を終えたロンさんが糸さんと来ました。ロンさんに日本で買っておいたマジック歴史改変青春漫画の「すべての人類を破壊する。それらは再生できない」の単行本 1 巻を渡す約束をしていたのでそれを履行し 2 冊渡して 15 ドルを受け取ります（まあそんなもんでしょう）。これで日本で余分に買っておいた奴が全部嫁いでくれました。

さらにロンさん糸さんと雑談。会場のトイレで、一部女性用を「ジェンダー中立トイレ」にして男性も利用できるようにするのってアメリカっぽくて面白いですよね、とかいう話をします。ロンさんによれば「絶対やっちゃダメなのは女性用を男性用にすること」とのことですがそれ**日本で普通**にやってますけど（笑）。



そういえば、パイクプレイス・マーケットの地下にはこんなトイレがあるのも思い出しました。「意識の高いトイレ」と命名。

Steak'n Shake

19時半に会場を離脱。まだ太陽もあんなに高く、ぜんぜん明るい中を坂を下ってパイクプレイス・マーケットへ。あるいはこのへんで夕食でも、と思ったもののやはり本当に18時には店を閉めてしまうようで、閑散としています。そこで夕食は、日本でステーキ屋を探して目星をつけていたSteak 'n Shakeに行くことにしました。場所は今朝すでに発見しており、スーパーのすぐそばにあったのです。



PRIME TRUFFLE STEAKBURGER セットとストロベリーシェイクを注文し、少し待ってから受け取ります。でかくて分厚いバーガーにかぶりつくうめえ！確かにこれは「ステーキ肉」を名乗れる味。シェイクも美味しいし、これで15.5ドル程度ならぜんぜんオッケーというか激安。

完食してレシートを見ると「Water \$0」とあり少し味も濃かったので、レジに「水」と要求すると小さいカップをくれ「あっち」と指さされた先に行くとドリンクバー。これはフリードリンクなんだろうかと思ってコーラを注いで飲み、さっぱり。

実は冷水の出る蛇口も別にあったようなので、どうやらこれは2ドルくらいドリンクの飲み放題の注文をちょろまかしてしまった模様。すまぬ。

スーパーマーケットに再度寄ってポテチを買ってホテルに戻ると21時半。実は会場でボールペンを無くしていたので、それではと今度は荷物を置いてセブンイレブンを探し、これもほどなく発見できて入店。ボールペンと、あと飲み物とお菓子を買って戻ります。

やはり風呂に入ると睡魔が襲ってきたので、22時過ぎに就寝。

2019年6月22日（土） 「隣」のレストラン

5時に目が覚めました。例によって昨日のマジック日記を書き、服を着てロビーに降りて通信をして清書してアップロードします。

さらにホテルの隣のレストランが土曜は7時に開くことを掌握していたので、ひとつこの朝食メニューを試すことにしました。このためさらに1時間くらいネットで時間つぶしをしてから（ソシャゲのデイリーもやりました）部屋にPCを置いてホテルを出てから隣のドアを開け、地下1階にあったレストランに入りモーニングの軽食を注文します。

すぐ出てきたコーヒーを飲みつつスマホをいじって料理を待っていたわけですが、何だか妙にネットの調子が良く快適にツイッターもリアルタイムで読めます。あれ？と思いつつこのレストランの位置を思い出し、これはもしかしてホテル1階ロビーのWifiの電波が**ここまで届いている**ためではないかと気がついて確認したらビンゴ（笑）。

これはいい。何もないロビーで待つより、ここならゆっくりコーヒーを飲みつつネットができる。次に来るときはノートPCも持ち込もう。



そして料理が到着。うん普通に美味。総額 14.6 ドル。オッケーでしょう。

明日も来るか…と思ったら日曜休み。しかし月曜なら朝6時から営業しているようなので、これは利用しよう。



食事を終えてレストランを出ます。確かにレストランは右のドアから入って地下に降りたので、ホテル（左）のロビーの真下にあるようでした。っていうか同一敷地。

8時半に食事を終え、支度を終えホテルを出ます。まずは昨日同様にプチ観光から。

パイクプレイス・マーケットの地下

昨日同様、会場へは11時に着けばいいのでまずはパイクプレイス・マーケットに向かうことにしました。ほどなく到着。



昨日と違ってすでに9時を回っていたので、やはり開いている店の数が違います。

そして地下のアート関係ゾーンに降りると、やはり嬉しいことに何軒かが店を開いていました。

古本屋も2軒ほど。とりわけそのうち1軒では、エッシャーの画集やシルマリリオン初版が10ドル程度で売っていて、無茶苦茶にテンションが上がりました。ここはまた来よう。

またアメコミ多数を売っている店で皆への土産を買ったりもしました（マジック関係もあり。モダンホライゾン10ドルもするのか…）。非常に楽しいひとときを過ごしましたが、10時を回ったのでタイムリミットとします。マーケットを出て、坂を登って会場に向かうことにしました。

マーケットを出たところの交差点で大男の黒人警官が男を組み伏せており、男が叫んでおりましたが、よく聞き取れない英語でした。夜中にパトカーのサイレンが鳴ることも割とあり、自分は被害は受けなかったものの治安にはやはり問題があるのかも。

本戦 1B

会場入りしてただちにスリープイン構築を始めます。

まずはレアチェック。

リミテで使えるレアはそこそこあるけど…安いね（笑）。

《ルーンの与え手》
《パシャリク・モンス》
《アイユーラの影響》
《溜め込み屋のアウフ》
《エラダムリーの呼び声》
《育成泥炭地》

取りレア

Creatures: 13	Spells: 12	Lands: 16
《ルーンの与え手》	《無謀なる突進》	《隔離されたステップ》
《セゴビアの天使》	《厄介払い》*2	《冠雪の平地》*2
《ゴブリンの勇者》*2	《炎恐怖症》*2	《冠雪の沼》*2
《自在自動機械》	《地操術士の計略》	《冠雪の山》
《第六隊の騙し屋》*2	《揮発性鉤爪》	《平地》*4
《オークの厄介者》	《胆液の泉》	《山》*6
《長槍スリヴァー》	《強打のらせん》	
《パシャリク・モンス》	《超現実的決着》	Sideboard:
《溶岩腹スリヴァー》	《殺到》	《溶岩の投げ矢》
《ロウクスの古参兵》	《マグマの陥没孔》	《炎血の精霊》
《勇敢な変わり身》		《鉱石鱗の守護者》

構築デッキ

白赤タッチ黒で。とにかく軽く早く。重目はサイドで。

氷雪要素がゼロなのにわざわざ氷雪土地を入れているのは、昨日と同様です。さて。

Round1 BYE

Round2 BYE

Round3 Dengさん 白黒 ××

G1 軽め速攻デッキなのに 13 枚土地を引いて負け。

G2 黒マナソースはタッチで少なめではあるのだけど、タッチで入れた黒の除去 2 枚を 2 枚とも引いて手札で腐って、白赤の除去をまったく引かなくて負け。

うーん…しょっぱなからコレはつらいな。相手のデッキもそれほど強くなかった（何しろ土地を 13 枚引かせてくれたのだから）ので、普通に回れば勝てたと思うんだけど…。昨日のバイ明け 3 連敗の苦悩の記憶が蘇る。

Round4 Costaさん 白黒赤 ×○○

G1 回って勝てた。

G2 白白が出ずに《勇敢な変わり身》が腐って負けた。

G3 回って勝ち。を、人間に勝てた。嬉しいな。まだまだ行くよ！

Rund5 Samさん 白黒緑 O××

G1 接戦のすえに勝ち。

G2 負け。相手は冰雪なので《針葉樹ワーム》がフィニッシャー。+5/+5 くらいついた。

G3 ほぼ一方的に相手ライフ5まで追い込んだものの、ここで打点が止まり睨み合いのすえ双方ほぼトップ勝負のところ、相手が《叶えられた祈り》を貼ってきて、ここからクリーチャーを置き続けて、順調に1点2点と回復されつつ空から3点ずつ殴られる。こちらはさっぱり後続クリーチャーも除去も引けず《ルーンの与え手》で守りつつも、次第に押されてライフ5になったところで相手に《針葉樹ワーム》が着地。ここで半ば絶望しつつも自分が致命的なミス。このときは手札に《マグマの陥没孔》を抱えていたので自分のターン中にワームを焼けば良かっただけの話だったが、相手の能力がなぜかこれがタフネスも増やすのを失念してターンを渡してしまう。相手は当然ながら4マナ浮かせて殴ってきて、こちらが《マグマの陥没孔》を打ったところで「では能力起動」あ。負け。あらゆる意味で、結果的にこのミスで2日目は消えました。あほだな自分。

4回戦の後で、昨日の朝に買ったベーグルの残りを少しかじって昼食にしていました。

まあ「残り」と言っても6個買ったうちの2個目なのですけど（笑）。

5回戦の後で糸さんが来て「猛烈にお腹がすいています」と言うのでベーグルを出して「売店のサンドイッチはポイズンでしたからこれ食べます？昨日買った余りですが、さっき食べたらまだ大丈夫でしたよ」と言うと手を出しかけた糸さんでしたが、そこで自分が「でもさっきこれを食べた後で負けたんですけどね」と言ったら手をひっこめた糸さん（笑）。結局、糸さんは売店でポテチを買って飲み物と一緒につまんでいました。

Round6 Tylerさん NO SHOW

勝ち勝ち。4-2で帰っちゃう人いるんだ…。まあそこから3連勝は確かにキツイけどね。

Round7 Jasonさん 青黒 ×O×

G1 双方ライフ6の接戦のすえ、トップ勝負に負け。

G2 こちらは《セゴビアの天使》→《第六隊の騙し屋》→《炎恐怖症》で焼いたうえで《ゴブリンの勇者》着地と理想的な回り方をし、相手に《終異種》とか《夢吸いイカ》

だののヤバイ奴も出るも、相手のマナが詰まり気味でこれらも即座に除去したりの本勝ち。いつもこうならいいのになー（笑）

G3 《終異種》を除去できず地上が止まりこちらが《セゴビアの天使》でちくちく1点しか削れず有効打を引かないまま相手がほぼ毎回クリーチャーを出してきて、押されてとうとうイカが着地。ここでイカが飛行を持っているのを忘れて《セゴビアの天使》で殴ってしまい、ブロックされてから「しまった」と思いつつ温存しておいた《殺到》をそこで使ってしまったプレイミスやる（1点殴りそこね）ものの、このプレイミスがなくてもまあ負けだったと思う。ここで殴らずにあるいは天使を犠牲にして《殺到》を《終異種》に使えという説もありましたが、相手は黒マナを立てていたので破壊しても《終異種》は小さくなって戻ってくるし、そのうえイカが毎ターン大きくなり続けたらまあ負けるからなあ。白除去を引けていればやすやすと勝てたのに残念。

これで自分は4-3で、2日目の目が消えました。とはいえ面白かったですね。

7回戦終了時に糸さんの結果を聞いたら5-2。つまり次で勝ったら初日通過できます。ただし糸さんは明日の昼に帰国を入れていたので、勝っても明日は不参加なのですが。この頃には糸さんと、昨日のステーキバーガーがとても良かったので夕食はそれにすることを話していたので「じゃあ次に勝ったら今夜の夕食は僕が奢りましょう」と激励。またこの待ち時間にQJに呼ばれて、ちょっと通訳のお手伝いをしました（省略）。

Round8 Lukasさん NO SHOW

いやまあ気持ちはとても分かるし別にいいんですが。PWP24点をゲット！

結果は5-3。結果だけ見れば昨日と同様に「惜しくも2日目に届かず」と言えなくもないものですが、よくよく見たら**人間には1回しか勝っていない**のですが（笑）。

ラウンド5での酷いプレイミスがなければあるいは…とも思えたけど、そこで勝てたらそこからノーショー2回はないだろうから、やっぱり無理だろうな（笑）。ラウンド7を逃したのも惜しかったと思うけど。まあ《ルーンの与え手》と《パシャリク・モンズ》はボムと言えなくもなかったけどやはり2日目に進むには厳しいデッキだったと思います。とはいえ、これで明日はサイドイベント三昧で楽しめることが決定しました。

糸さんが初日を通過しました（ただし2日目は…）

自分がラウンド8を10分で席を立ったので、さて5-2だった糸さんはどうかな…と思い座席表を見て糸さんの所に行って後ろから見たら、ちょうど糸さんが相手を倒して通過を決めていました…でも糸さん明日の昼に帰国するから2日目に出られないんだよね（笑）。このため糸さんがジャッジに明日のドロップを伝え、6パックを得るのを横で見えました。あとで食事のときに糸さんのデッキを見たらまず《慈悲深きセラ》が入っており、その他強いレアやアンコモンがてんこもり。超つえー。

このデッキだったらこの俺でも2日目に！とも思えなくもなく（笑）。

タ方のパイクプレイス・マーケット

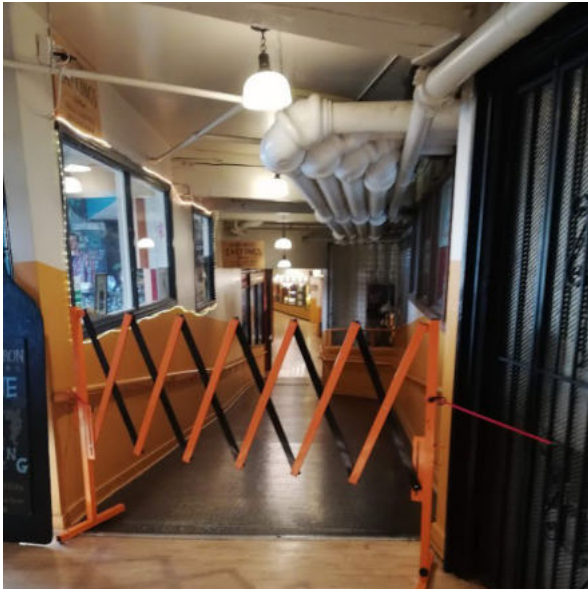
糸さんと19時に会場を離脱します。糸さんはまだパイクプレイス・マーケットにもスターバックス1号店にも行っていなかったのも、バーガー屋に行く前に軽く寄って案内します。ていうかほとんど通り道ですし。

ほとんど閉まってはいるものの楽し気なタ方のマーケットを軽く歩いたり、海側に突き出している部分に行って海側からマーケットを見たりしました。この過程で、ぼくが市内からこのマーケットに入っていた1階と思っていたのは

「3階」であり、「地下」だと思っていたアート関係のショップは「1階・2階」であることが判明。急な坂道の多いシアトルならではです。

僕が感動したアート関係の店の外観だけでも糸さんに見せておきたかったので、それでは地下に行ってみましょうということで案内したら、この時間では区画ごと閉鎖されている





ことが判明しました。残念。

またついでに「意識の高いトイレ」にも案内することに（→P.20）。

またマーケット入り口に幸運の豚というのがあったので、こういうのは試す主義の自分は、これにまたがってから糸さんに写真を撮ってもらいました（本書表紙）。

よく見ると豚の頭に寄付を入れるスロットがあったので、1ドル札を投入。

Steak 'n Shake（2回目）

スターバックス1号店を案内し（列が長かったため糸さんは明日早朝に来ることにしたようです）、マーケットを離脱して遠くないSteak'n Shakeへ。僕は2日連続の夕飯になりますが気にしません。どうせ毎晩アメリカ飯です。今日の自分はバーガーはトリュフ抜き、シェイクはバニラにしたくらいで基本昨日と同じものです。でも普通に美味しー！



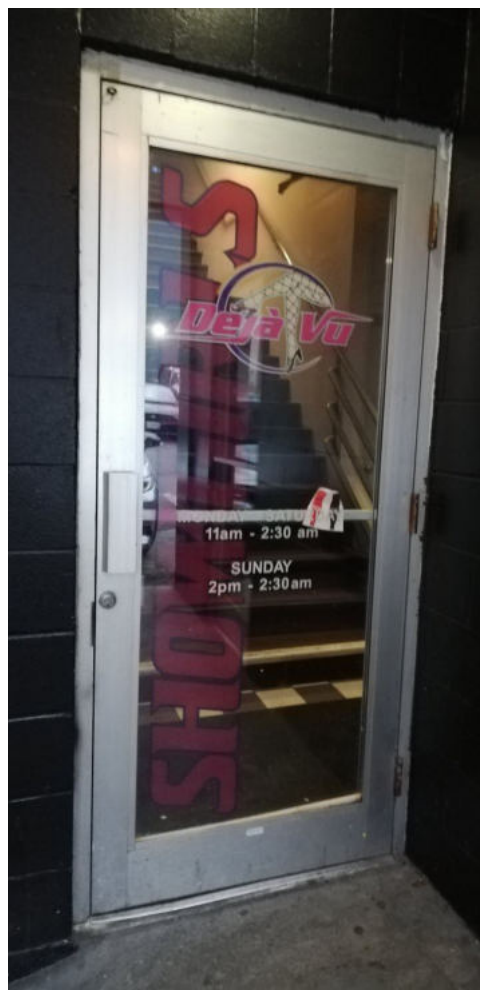
バーガーを片づけた後で互いのデッキを見せ合ってキャッキャウフフしたり（糸さんのデッキの強さに吹いたのはこのとき）、他愛のない話をして楽しく過ごしました。

そして8回戦に勝った糸さんに約束通り今夜の夕食は自分が奢りました。まあ糸さんに木曜に奢られたのは100ドルで、自分が奢ったのは15ドルなんですけど（笑）。

大人のお店へ

楽しい食事もあり 21 時。あとは帰るだけですが、観光の下調べとして「シアトル 風俗」でぐぐって（ぐぐるなよ）この近くにえっちな店があることを掌握していた自分は、とりあえず店の前まで行ってみることを提案します。インターネットでの情報によれば、どうやら 22 ドルで入場できて、店の中ではお姉ちゃんが踊っていて（トップレス?）、さらに別室の個室で 40 ドルくらい払うと「おさわり」のサービスが受けられるらしいのでした。

予め女房に相談して（するなよ）呆れられつつも「おさわり抜きなら可」という許可を得てました。それ以上の売春サービスがあるのかどうかは、よく分かりません。あっても利用しませんが。



糸さんと再度マーケットのほうに戻り、グーグルマップでブロックをしばらく探した結果、ついに目的の店を発見。しかしこの日はドアを押す勇気はなく、そこで終了（伏線）。

土曜終了

糸さんと別れて自分も帰ります。今夜はホテルを素通りして、まずはセブンイレブンに寄って帰ることにしました。いつもセブンイレブンの前に立っている物乞いのおっさんが（シアトルには 1 ブロックに 1 人くらいいますね）話しかけてくるのをスルーして入店。コンビニでは土産の菓子の追加購入に加えて「カップに機械で入るだけのシャーベットを入れる奴」も試し、なみなみ注いでそれを持ってホテルに戻ります。風呂を立てて入り、溶けかけたシャーベットを全部食べてから、22 時就寝。

2019年6月23日（日） 夜更かし

案の定、零時半には目が覚めてしまいます。まだ睡眠は足りていない筈ですがとりあえず起きて土曜のマジック日記をつけ、深夜のロビーに降りてアップロード。これで寝なおしても構わないのですが、明日はもう帰国の日ですし時差ボケ予防のためにもあまり米国で規則正しい睡眠時間にしないほうがいいよねという判断もあったので、引き続きだらだらネットをします。

今日の必須予定は正午からの「2倍シールド」くらいしかなく、あとは午前中に1~2回ドラフトをするくらいなので、最悪11時頃まで寝過ごしていても別に構いません。

財布の中身は200ドルほど。普通に考えて明日は帰国なのでこれで十分ですが、現金で100ドルくらいは残しても構わない（というか次回来たときに良い）のでそれの考えるともう今後は可能な限りカード払いにするべきかな、とは思いました。

午前4時頃に睡魔が襲ってきたので、部屋に戻って寝なおしました。

マーケットの眺望レストラン

起きると7時半。起きて身支度をして出ることになりました。ドラフト受付は9時からですが会場は8時には開きます。朝食をのんびりと取ればもう早すぎるということはないでしょう。

さすがに3日目のベーグルはゴミ箱に捨てました。出ると少し地面が濡れていたなので、部屋に戻って折り畳み傘を持って出ましたが、実際はもう雨はほとんどやんでいて傘は使いませんでした。スーパーに寄って昼食用に2ドルの食パンを購入。さらに会場飯は貧乏を極めるスタイルで。



そしてパイクプレイス・マーケットへ。
かねて目星をつけていた眺望レストランが
案の定もう営業していたので「計画通り」
とつぶやきながら、入店。窓側の席に座り、
コーヒーと朝食セットを頼みます。

「卵3つをお好みの焼き加減で」といった
記述がメニューにあったので「目玉焼き、
スクランブル、ポーチド」と注文したら



「一種類にしてくれ」と言われた（笑）
ので卵3つの目玉焼きで。
少しポテトが硬めでしたが許容内。
おかわり自由のコーヒーを2杯。
総額14ドル。眺望代を考えても普通に
ありますね。
のんびり朝食を楽しみ8時半に離脱。

サイドイベント申し込み

会場入り。木曜のサイドイベントはファナティックのチケットを放り込むだけだったので、会場のシステムを使ってサイドイベントを申し込むのは初めてでした。サイドイベントの受付場所にはPCが数台置いてあり、紙に書いて申し込むのではなく、自分で入力をするシステムのようなですね。新しい。

スタッフに方法を聞くと、目的のサイドイベントが受付可能になったらイベントを画面でぽちって自分のDCI番号などを入力し、さらに決済画面へ。クレカ決済であればそれで終了ですが、現金決済の場合にはそこでスタッフを呼びます。スタッフが自分のPCから別画面を表示させて自分の氏名を確認するので、そこで現金で支払うとスタッフがそこで

入力して受付完了、という仕組みのようです。
なるほどとりっぱぐれなし。

クレカ決済であれば自分のスマホでサイトで
入力も可能で、ここに並ぶ必要もない模様。
素晴らしい。

9時まで待ってから並んでドラフトに登録。



ドラフト ポッド 1

朝一で登録した人間8人で、さっそくたちました。
ピックできた緑のレア2枚もリミテでは強いので、白緑の
タッチ赤のスリヴァー風味で構築。さて。

《熊の女王、アイユーラ》
《深き森の隠遁者》

取りレア

Round1 Danielさん 黒赤 ××

G1 土地が2枚で止まって負け。
G2 殴り合いのすえ負け。除去の多さはつらたん。
シングルエリミなので終了。次いこ次。

ドラフト ポッド 10

まだ10時。ダブルアップシールドは正午からだからもう1回
遊んでいくか…勝ち続けてもドロップだけど。
ということでエントリー。ほどなく立ちました。

《バザールの交易魔道士》
《真理と正義の剣》

取りレア

1-1で《バザールの交易魔道士》。弱くはないので取りました。まあ、青でよかる。青と
言えば、青赤の複数ドロウのアーキか、青緑の冰雪アーキか、青黒の忍術アーキか、青単

ライブラリアウトだが、さて…。というところで《ウルザの激怒》が流れてきたので、青赤の「複数ドロウ」のアーキで行くことに。あれ一度組んでみたかったんだよね。以後は青赤を決め打ちで取るものの、1 パック目では、そのキーとなる《ミルカイト》や《多角ミノタウルス》が1 枚も取れなくて焦る。選択間違えたか？失敗ドラフトか？

2-1 《真理と正義の剣》。スーパーボム神話レアキター！もちろん秒で取ります。最終的には3 パック目にもなると多角ミノタウルスがだだ流れて来て5 枚も取れました。いい感じ。ミルカイトは結局、1 枚も見ませんでした。まあ青絡みなら取るよね。

Creatures: 14	Spells: 10	Lands: 16
《フェアリーの予見者》	《全可能性の究明》	《誘惑の洞窟》
《ゴブリンの勇者》	《炎の拳》	《孤立した砂州》
《氷山のカンクリックス》	《幻影変化》*3	《冠雪の島》
《オークの厄介者》*2	《地操術士の計略》*2	《島》*4
《復讐に燃えた悪魔》	《ウルザの激怒》	《山》*9
《バザールの交易魔道士》	《真理と正義の剣》	
《高山の案内人》	《締めつける網》	Sideboard:
《ボガーダンの龍心》		なし
《多角ミノタウルス》*5		

《思考の流れ》を3 枚引いたけどライブラリアウトの勝ち筋は **構築デッキ**
捨てたのはともかく、除去として3 枚引けた《マグマの陥没孔》を結局1 枚も入れずに「カードを引く」と書いてある呪文に全振りした自分の決断を誉めてやりたい。

Round1 さん 黒赤 ×○○

- G1 後手で、ミノタウルスはもとよりクリーチャーを全然引かずに引いても除去されて負け。
- G2 白青剣が出て装備して殴って勝ち。
- G3 白青剣が出て装備して殴って勝ち。

Round2 John さん 白緑 ○×○

- G1 順調に土地とクリーチャーが伸び剣を引いたので、すでに序盤からちくちく殴っていたフェアリーに装備させて殴って飛行 5/5 のできあがり。

相手が返して《熊の女王、アイユーラ》が出ている状態で《変容の軍勢》で熊の2体を出したうえで、2回の誘発を解決して「+2/+2を乗せた4/4で格闘」を選んだ動きが一瞬理解できなくて、しばらく話してようやく理解したのだが、しかし「なるほど理解した。でもこいつ5/5だよ」と言うと相手は「あ」と言って4/4をすごすご墓地へ。基本的にはこれで決まりました。

それから相手が1/1飛行4体で守りを固めてフェアリーは止めたものの、ミノタウロスなども殴って相手のライフ1。そこで次のターンに殴ったうえで、ブロッカーが死んだところで《復讐に燃えた悪魔》をぼちって勝ち。

G2 向こうが先手2ターン目に《熊の女王、アイユーラ》、3ターン目に《吉兆の一角獣》、4ターン目に《変容の軍勢》で5/5熊が2体出て目が点になる。少しだけ考えて、勝ち目がなさそうだったので時間を惜しんで投了する。

G3 3ターン目ミノタウロスを出し4ターン目にバザールを出して二段攻撃で殴るなど、3マナ域からガンガン攻める。5ターン目に相手がバザールを除去してきたターンにはミノタウロスが2体目。相手がライフ7で地上を固めた次のターンで、2枚目の《幻影変化》を出して「グッバイ」と言って終了。飛行3/3二段攻撃が2体で12点。

やりたいようにデッキを回せて、楽しかったな！

ここでもう正午。ダブルアップシールドのバウチャーはすでに放り込んでありました。まだ決勝の対戦相手が戦っていたのでジャッジを呼んで「自分は2勝したけど、ダブルアップシールドに出るのでドロップします」と伝え、チケットは後で貰いに行く段取りをつけ、ポッド番号を記録してシールドへ（あとで200チケットをゲットしました）。

ダブルアップシールド

すでにデッキ構築のための座席表が張り出されていたので、急いで座って参加。まずはレアチェック。

《レンと六番》は当たり高額レアだけどリミテとしては…。

《遺棄の風》
《疫病を仕組むもの》
《呪詛呑み》
《斬雲スリヴァー》
《レンと六番》
《ヘリオッドの高潔の聖堂》

取りレア

Creatures: 17	Spells: 7	Lands: 16
《蓋世徴用》	《厚鱗化》	《誘惑の洞窟》
《呪詛呑み》	《厄介払い》	《冠雪の山》
《自在自動機械》	《遺棄の風》	《冠雪の森》
《第六隊の騙し屋》	《紆余曲折》	《平地》*7
《母熊》*2	《叶えられた祈り》	《森》*6
《斬雲スリヴァー》	《リスの巣》	
《長槍スリヴァー》*2	《超現実的決着》	Sideboard:
《春花のドルイド》*2		なし
《変容の軍勢》		
《ロウクスの古参兵》		
《吼える大鹿》		
《ムラーサのビヒモス》		
《クローサの大牙獣》*2		

構築デッキ

緑白タッチ赤で。すこしスリヴァー風味。さてどうかな。

Round1 Alissa さん 白黒緑 O×O

G1 回って勝ち。

G2 押されて負け。

G3 一方的に回って勝ち。

対戦相手が若い女の子だったので、よしよしおじさんが優しくプレイをしてあげようねと思ったら、たまたま隣のデブが知り合いだったらしく着席するなりろくにこちらを見ずにデブと喋ってばかりいたので「よし潰す」と決意し、紳士的かつ容赦なくプレイして勝ちました。なお、今回シアトルで自分が対戦した唯一の女性プレイヤーでした。初心者ぽくも見えたけどちょっとチートくさいことをやられそうになったりもして萎え。

Round2 Daniel さん 黒赤 ××

G1 除去られまくって負け。

G2 除去られまくって負け。

ラウンド2の相手は、ドラフトポット1のラウンド1で俺を倒して1没にしたダニエル

(P.32)。しかもまた黒赤。しかもまた畳みかけるような除去コン。**またしてもこの俺様の前に立ちふさがるのか、ダニエル**（今度も一方的に負けました）。いや知らないおっさんなんですけどダニエル。ちくしょーここまでかー。

Round3 Brewさん ID

にこやかにサインして一緒にプライズ 220 ずつを貰いに行って終了。

会場離脱

シールドの合間にスーパーで買った食パンを食べたり（ポイズンではありませんが、味がないのでやはりそんなには食べられず）、もう無駄にドルを使わないようにしなきゃなーとか思いつつ最近のダブったジャッジフォイルを持ってきたのに気がついたのでバイヤーブースに投げたら 300 ドルを超えて驚き一転して節約の必要がなくなったり、このため友人への土産に余分に変なプレイマットを買ったりします。

パイクプレイス・マーケットの 18 時までしか開いていない店にも行きたかったので、シールドを終え次第、次のサイドイベントに出ず会場を離脱することにしました。

獲得できた残りのチケを全部使い切ってプレイマットやTシャツを獲得。

QJ ともお別れの挨拶（まあ 8 月の千葉で会えますが）。QJ に買った変顔プレイマットを見せて「これを日本への土産にします」と言ったらゲラゲラ笑って「何でこれ？」とか言うので「これはイヤゲモノという、親しい人に敢えて変なモノを送るという美しい日本の文化です」とデタラメな説明。

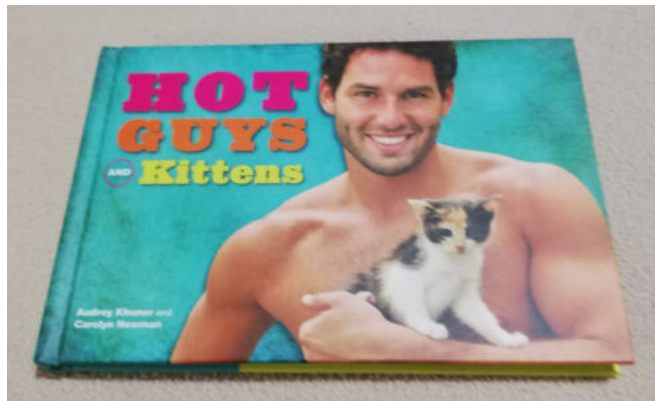


これで会場でやるべきことはすべて終えたので 16 時前、離脱します。楽しかったあ！

パイクプレイス・マーケット（アート区画）

16時にパイクプレイス・マーケットに到着。あと2時間。残りショッピングには十分な時間でしょうね。というわけで地下もとい2階のポップアートの区画に。

基本的にはいろいろ堪能したり、さらにお土産を買い足したりしました。誌面の許す限り紹介しようかなとは思いますが（いかしたものの多くは口絵に載せました）。



思わず「これは」と思って手に取ったミニ写真集。中身は上半身がだいたい裸の男とペットのツーショット（笑）。ぼくはゲイではないけどきつとこれを欲しがる人は居るだろうと思ったら、やはりの反響で友人の腐女子の方へのお土産になりました。

よくあるアメリカンジョークのグッズ。

「教授の50年の研究で、女についてわかったこと」と題したブックレット。中身は白紙のメモ帳。

ここでは他にも「100万ドル紙幣」みたいなジョークグッズも売っていました。いかにも観光地ですな。



ポップアートの雑誌やポスターを売る店。1枚15ドルの3枚で40ドル。

「バーバレラ」は自分へのお土産で、アングル・サムとレーニンはこういうのが好きそうな友人への土産。

1時間余り一通り堪能して、土産も買って18時を待たずに離脱することにしました。

ハードロック・カフェのステーキ

18時。そろそろ夕食にしましょう。3日続けてハンバーガーというのも芸がないので、懐もドル札で暖かいしひとつ今夜もステーキと言うことで「ハードロック・カフェ」へ。コーラを頼んだのち、BABY BACK RIBS というより分からないが肉なんだろうを注文（26.95ドル）。

しばらく待って届いたそのの、巨大さに言葉を失う。ダブルの肉を頼んだ覚えはないんだけど。

意を決し骨と骨の間にナイフを入れると、柔らかくてさくっと入り、肋骨を含んだ一塊の肉がフォークにささります。それを口に運び肉を骨から食いちぎります。骨そばの肉うめえ。

あるいはフォークで肉だけを切って食べもしましたが、肉塊全体の巨大さに面倒くさくなり後半は肉を切り離すなり両手でつかんで食いちぎります。

両手がバーベキュー・ソースでベとベとです。



そして意外にでかい肋骨がごろごろしているので、見かけよりはだいぶ量が少なく、危惧されたものの肉は完食。確かにこれで1人前だったかな感じ。まあサラダは食べましたがポテトのほうは申し訳ありませんが残させていただきましたが。

トイレでよく手を洗って総額33.84ドルを払って出ます。うん、いいじゃないですか。

大人のお店へ（2回目）

ハードロック・カフェを出ると 19 時。明日は帰国するだけ。肉もたらふく食べました。

懐にもまだ余裕があります。**これはもう風俗**に行くしかありませんね！

そこで昨日糸さんとドアの前まで来た「Deja Vu」（※1）を再訪します。ちなみに店の場所はハードロック・カフェのすぐ裏でした（笑）。

※1 <https://dejavu.com/showgirls-seattle/>

昨日は勇気を出せずにドアを押さずに帰ったものの、今日の俺は勇気を振り絞ってその先へ。このドアを開けて 22 ドル（税込み）を払えば、そこにはめくるめくショー・ガールの世界がある筈です！

女房からは「おさわりはなしで」と釘を刺されてはいたものの、懐は暖かいからもしかしたらその場の雰囲気次第では 40 ドルくらいは払うことになるかもしれない。その時はゴメン女房…と思いながら胸を

ふくらませてドアを押したら**ドアが開きません**。えっ…なんでナンデ？ そのドアにハッキリと日曜は 14 時から 26 時 30 分までって書いてあるじゃないの。ナンデ？ 理由は分かりませんが失意のまま、入店を諦めます。



電気はついているようだしサイトも生きているようなので、もしかしたら呼び鈴を押したら奥から店員がドアを開けてくれたのかも、あるいは予約制だったのかもしれない。

アダルトショップへ

開かないドアにショー・ガールとのコンタクトには失敗したものの、ふと右を見たら別の

通路があり、通路の壁にセクシーなポスターも貼ってあります。何だろうと思いその先に進むと、アダルト・ショップにつながっていました。しょうがない今夜の俺を慰めるのはしょせんコレさ…と思いつつ店内を物色。中は普通のアダルトグッズ（カップル向け）やエロ雑誌やエロDVDが置いてあり、特筆すべきものはありません。今更エロDVDに30ドルとか払う気はありませんでしたが「エロ雑誌のバックナンバー在庫2冊10ドル」というのがあったので土産がてらに「これでも買っていくか」と手にしてレジへ。レジのデブのおばちゃんに雑誌を渡してお金を払うと、おばちゃんはにっこり笑いながら「えんじょーい」と言って雑誌を手渡してくれました（笑）。

さすがにもう帰るしかないので、ホテルに戻って19時半。なぜか出る時にドアノブにかける札の表裏を間違えていて、ベッドメイクがされていなかったのがっくり来る。まあバスタオルは常に2組あったので、被害はシーツが新しくなっていなかったくらいなのですが。

エロ雑誌をぱらぱら。まあ中身はぱっくりの写真ばかりなのですがAV女優インタビューみたいなポエムを読み苦笑。「18歳の誕生日に従兄弟にホテルに連れていかれたの。彼ったら…」みたいな「読める…この私の英語力でもこれが頭の悪い英語であるのが読めるぞ…」とムスカの声でつぶやいてしまった位。ライターさんも大変だな。あと出会い系の掲示板もありました。女性の男性募集が多数。たぶん電話すると、プロの商売女性が交渉相手に出てくるのだと思います（構いませんが）。



20時を回るとやはり睡魔が襲ってきました。まだマジック日記も書いていないし帰国の荷造りもしていないけど、どうせまた何時間かで目が覚めるだろうし、明日も別に早朝に出発するわけでもないから睡魔に抗わなくていいや…とばかりにベッドにごろり就寝。

2019年6月24日（月） 最後の夜

目が覚めると21時過ぎ。実はぜんぜん眠っておらず日付も変わっていませんでしたが、睡魔は飛んでいたので活動を再開することにします。

まずはズボンをはいて上着を着て靴を履きコンビニへ。最後の土産菓子と飲み物、それに加えシャーベットをカップになみなみと注いで持ち帰ります。

部屋に氷バケツがあり製氷機もロビー奥にあることを確認していたので、ホテルに戻ってからロビーに戻り氷を満たしてシャーベットを冷やしたままにしながらバスタブに湯を満たして入ります。



風呂から上がりシャーベットを食べ、引き続きペットボトルを氷に突っ込みます。これで冷蔵庫がなくても冷たい飲み物が飲めるので、初日からこうすれば良かったですね。

部屋で日曜日のマジック日記を書き、さらに再度Tシャツを着てロビーに降りてアップロードします。よし、これで今夜のノルマ終了。ちょうど日付が変わりました。

あとはやらねばならないのは最終荷造りくらいですが、これは明日起きてからでも十分に時間があるので、再び襲ってきた睡魔に抗わずに部屋で眠ることにしました。

フライトは11時半ですから最悪で9時まで寝過ごしても何とかかなりますが、念のために6時に目覚ましをセットしてベッドに入ります。ぐう。

荷造り

目が覚めると午前3時。相変わらず細切れにしか眠れませんが、起きての荷造りを始めることにします。のんびりやって6時を回ったら隣のレストランで朝食にして、あとは帰国モードになることでしょう。

ただし身体にいささかの変調。もとよりシアトルに居た時には全体的にお腹がゆるい状態だったのですが、今朝はとうとう「下痢」とも言える症状になりました。さらにまだ胃がたばたばで、油断すると胃液がリバーシしそうです。胸やけもします。

まあ原因は明らかに昨夜の脂ぎとぎとステーキと、その後でアイスやら飲み物をがぶがぶ飲んだためであろうと思われましたし胃にも腸にも痛みはないので、特に気にはしないで頻繁にトイレに行く以外は普通に荷造りを続けました。



本書のネタでもあるので買ってきた土産類をきちんと分類して写真に撮りながらのんびり荷造りを進めて、荷造りを終えて午前4時。

今回は割合とリミッターを外して古本なども多数購入したので、あるいはこのバッグだけではおさまらないかなと思ってズダ袋も用意して臨んでいたのですが、結果的にズダ袋は使わずにきっちりおさまりました。

ただし割と結構な重量です。

隣（階下）のレストランへ

荷造りを終え、服も着て部屋も片付けていないものを捨て（余った食パンもゴミ箱へ）あとは部屋を出るだけの状態にしてから、PCを持って1Fのロビーに降りて通信。撮影した写真をアップロードしたりだらだらしながら時間を潰します。日本は月曜の夜なので比較的雑談の相手も多く。あとソシャゲも進めました。

午前6時を回りました。隣のレストランが朝食を出している時間です。だらだらネットをするのも良いですが、コーヒーを飲みながらのほうが楽しいですよ。そろそろ胃も軽食

くらいなら入りそうです。ではレストランに向かいましょう。部屋に戻り PC を置きます。

隣のレストランはホテルの地下にあり、そもそも昔はエレベータでも直接行けた形跡があるので

（今はボタンを押しても反応は無し）フロントで「隣のレストランに行くんだけどエレベーターで行けないの？」と水をむけると「階段があるよ」という返事。を、そうだったのか。わざわざ外に出なくていいのは助かりますね。

このため鍵も預けずにそのままレストランに行きます。バックヤードのような汚い階段を降りるとレストランの裏口から入店できました。



メニューを見てコーヒーと、軽めがいいかとクロワッサンサンドを注文しました。ほどなく到着。…いまの自分の胃にはやや重めに見えます。クロワッサンを上下にスライスし目玉焼きとベーコンを挟んでいるものの、目玉焼きと

ベーコンが盛大にクロワッサンからはみ出していますよ（笑）。

「サンドイッチ」とはいえ手づかみで食べるのには難があったので、ナイフとフォークで少しずつ切って、クロワッサンと目玉焼きとベーコンが全部乗るようにして口に運びます。うめえ！ クロワッサン好きの僕としては大変に良いメニュー。お値ごろ価格だし朝食としては次からはこれだけでもいいかもなあ。これで総額 8 ドルは激安でしょう。

おかわりのコーヒーを飲んでゆっくり 7 時半頃まで粘ってから、レストランを出ることにしました。来たドアを通してホテルに戻り、部屋の荷物を全部持ってエレベーターでチェックアウト。フロントでは「先週の土曜日から税金が上がった」ということで追加の 20 ドルほどの支払いを求められたので素直に応じてチェックアウト。

このホテルはありだな！ ダウンタウンにも徒歩で行けるし、シアトルの中ではかなり安い。難があったのは個室 Wifi がないことくらいだけど、これは自前で用意できれば無問題。

リンクライト線に乗車

ホテルを出て、重い旅行鞆を手放さないように注意して押しながら坂道を降りた交差点がもうリンクライト線の University 駅への入り口です。これもこのホテルの大きな利点で、最初からこの位置関係を把握していたなら、空港からは会場に直行せずホテルに寄って荷物を降ろしてから会場に向かえば良かったですね。次回があれば、そうしましょう。



8時に駅のホームに立って、乗車。なにごともしなければ9時には空港駅に着けるでしょう。

…アナウンスを聞き間違えて空港の**ひとつ前の駅**で降りてしまいました（涙）。ホームで「ターミナル」の案内がないのでおかしいなと思いつつエレベーターで地上に降りて駅を出て

しまってから、しばらく回って気がついたので、慌てて再度エレベーターでホームへ戻り来た奴に乗車して空港駅に到着。いささかのロスタイム。

いわゆる「改札」がなかったので、特にチケットを買いなおしたりする必要がなかったのは不幸中の幸い。ORCAカードを購入していたら、駅を出るときには「ピッ」とやる必要があったので、再入場でいささかの料金が発生した所ですが（安いものですが）。

空港へ

リンクライト線に乗り直して8時40分に空港駅に到着。今度はちゃんと「→Terminal」の掲示があったので、それに沿って歩くとものの10分ほどで空港ターミナルへと到着。あれ？行きは不慣れだとはいえ30分かかったよな…と思って見ると「アラスカ航空」の

カウンターがあり、そしてそれが延々と続いています。「ははあ」と思ってデルタ航空のカウンターを探すと、案の定、そこからさらに5分以上空港内を歩く羽目になりました（笑）。行きはデルタ航空のカウンターから空港を出て外回りで駅を目指したためか。ともあれ無事にデルタ航空のカウンターに到着したので、機械でパスポートをスキャンし無事に発券終了。さらに手荷物を預けると午前9時。さすがにもう大丈夫でしょう。続いてセキュリティの列に並び、20分くらいでこれも無事に通過。さらに地下のシャトル乗り場まで移動し、シャトルで1駅を移動してSゲートに到着。目的のS15ゲート前に到着したのが9時半。よし。これであとは2時間後に無事に成田行きのデルタ147が飛べば日本に帰れます。

オーバーブッキング

構内のコンビニで機内でつまむための飲み物やM&Mを購入して待機。空港の無料Wifiもそこそこ使えるので、それほど待つのは苦になりません。グラブルやってればOK。

10時を回り、そろそろ気の早い人が搭乗口の前に並び始めたのですが、なぜかなかなか列が動きません。

そして少しすると英語と日本語で「147便が満席のためフライトを明日に変更できる方は申し出ただけければ800ドルのクレジット入りのVISAカードを差し上げます」というアナウンスが来ました。ははあチェックインの時にボランティア云々と書いてあったけど、やはりオーバーブッキングが発生していたのだな。もう一泊余計に泊まって観光を楽しみ800ドル貰えるのなら、去年の無職の時の僕なら喜んで応じたなあ、とか考えます。

さらに10分が経過。再度のアナウンスで「147便が満席のため（略）1000ドルのクレジット入りの（略）」と流れました。お、さらに跳ね上がった。いやぁ有休がふんだんに残っているのであれば会社に「すいませんもう1日休みます」と連絡して応じていたのに残念だなあ、とか考えます。いまは仕事は別に忙しくないからね。

さらに搭乗が始まらないまま30分が経過して、とうとうアナウンスで「147便が満席のため（略）**2000ドル**のクレジット入りの（略）」と流れたので吹きました。うわぁ！

まあ最後の1人が降りない限り決して飛行機は飛べないとはいえ航空会社も大変だなあ。ていうか2000ドル貰えるのなら、これはもしかしたら有休残がなくて来年に欠勤控除で給料が1日ぶん減る羽目になっても（加えて勤怠評価が少々下がっても）帳尻が合うのではないだろうか？といささか**真剣に検討**を開始してやめました（笑）、さすがにこれには応じる方が居たようで、搭乗列は動き始めました。

こういう時には、最初に800ドルで応じた人には800ドルしか払われないのだろうか？それともそこでゴネて「やっぱり降りないよ」とか言われたら困るので一律2000ドルを払うのだろうか？とかいうことを考えつつ、11時30分に自分も搭乗。

窓側の席を空けつつ通路側の自分の席に座っていたカップルが居たので、奥の自分の席に詰めて貰って「この状況で空席があるわけないじゃん」とか内心思いつつ着席します。

帰りの空の旅

デルタ147は40分遅れの12時10分に離陸。あとは何ごともしなければ、10時間後には日本です。基本寝ているのがいいのでしょうけど、そこは流れで。

13時に飲み物とチーズが出たうえで、13時半に機内食の「夕食」が配られます。もぐもぐ。

機内映画の「アントマン VS ワスプ」をかけます。基本的には面白い映画でしたね。エンディングのあとの小ムービー（アベンジャーズにつづく）は意味不明だったというか感心しなかったけど…。



14時半。日本時間では火曜日の午前6時半。時計を日本時間にして、うつらうつらすることにしました。ぐう（ここからは日本時間で記します）。

2019年6月25日（火） 帰国

7時45分に目が覚め、再度の寝なおし。

9時半にハーゲンダッツと飲み物が配られたので、起きていただきます。

もうあまり眠くなく、あと2時間半くらいあったので、もう1本映画をかけることにし、吹替のあるものを適当に選んで知らない映画をかけました。何やら小学生がなぜか廃墟にあったエクスカリバーを引き抜いて同級生らと円卓の騎士の物語をなぞって悪を倒す、というジュブナイルを映画化したような英国・米国製の他愛のないファンタジー映画でした。英国の風景などは悪くなかったし、主人公の少年はまっすぐな性格で微笑ましく鑑賞していたのですが、機嫌が悪かったらボロクソに貶していたかも（笑）。話に割と無理のある部分もそれなりにあります。

「クエスト・オブ・キング」という日本未公開で秋にDVDが発売される映画でした。

<http://www.foxjapan.com/kid-who-would-be-king>

機内の照明がついて12時半、お手拭きが配られました。起きろということですね。

続いてその10分後には「朝食」が配られました。ホットサンドとオレンジジュースでした。おいしく頂きました。

そして食事ごみを回収すると、ほどなく機体は着陸態勢に入り、何ごともなく13時半過ぎに着陸。

通信を日本の回線に切り替え「日本なう」とつぶやきます。

今回も無事に帰ってまいりました。

普通に通信のできる幸せ。



帰宅

ほどなくイミグレを通過し、その 10 分後には荷物を回収できて税関へ。

税関で「海外にたくさん行ってますね。お仕事ですか？」というこれまでにない言い方の質問をされて「趣味というか遊びというか」と答える一幕があったり、担当がこちらの ID を機械に打ち込み照会したりとあからさまに**疑われている**風もあったものの、それでも別に「荷物を開けて」と言われることもなく 14 時 10 分には税関を通過。運び屋とでも思われたのかな？ まあこちらは後ろ暗い所は工口本を持っていたことくらいですが。14 時 15 分には京成特急に乗車して、それは 14 時 27 分には発車。

そして車中をだらだら待っているだけで、15 時 35 分に青砥駅に到着。

さてあとはタクシーに乗れば 10 分で我が家だ…と思い、前回の台北の時は雨でなかなかタクシーが拾えなかったなあ寒かったなあと思い出して（MF 台北 2019 参加記参照）、では今度はどうかなと思ったら、真昼間のためか客待ちのタクシーが居ません（笑）。乗車待ちの列もないのでそのままそこで立って待つと、5 分くらいたつと流しが来たのでそれを拾って普通に誘導して 16 時過ぎに我が家へと到着。

お家に帰るまでが MF であり、これで今回の MF シアトルも無事に終了しました。

（完）

P.3 で述べたように、今年の訪米 MF をラスベガスでなくシアトルにしたのは「今後はウィザーズは新しいことをシアトルでやる」ためと聞いたためであり、確かにそれはまあ事実ではありました（本戦初日を 2 回やるとか、サイドイベント運営方式とか）。本書で述べたように自分は初めてのシアトル観光を大いに楽しんだものの、とはいえ「街」としての楽しさはやはりラスベガスのほうがだいぶ大きいよねえと思わざるを得ませんので、来年以降もシアトルにするかどうかは、自分でもまだ未定です。答えは 1 年後！（ていうかいつから年に 1 回 USA に行くことにしたのかな）

今回訪れた主なスポットは、こちらになります。



Copyright:Google

MF シアトル 2019 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2019年8月9日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（ひろじ）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）